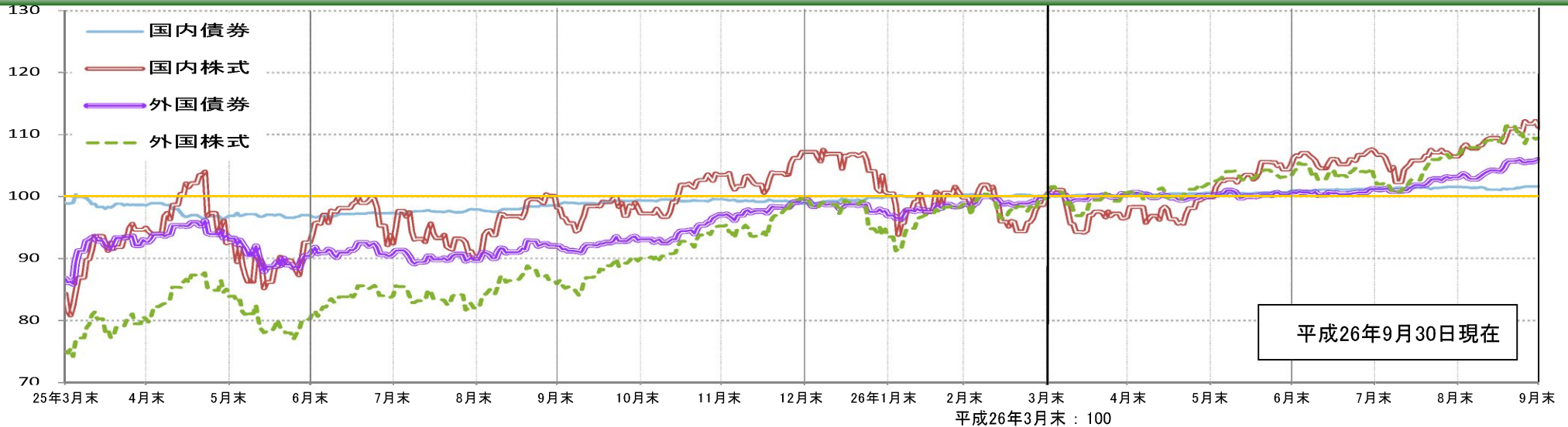


内外株式・債券のベンチマーク推移



資産区分	ベンチマーク	平成24年度		平成25年度				平成26年度	
		3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	
国内債券	NOMURA-BPI/Ladder 20年	163	159	162	162	164	166	167	
国内株式	TOPIX(配当込み)	1,374	1,508	1,599	1,746	1,629	1,712	1,812	
外国債券	シティ世界国債	359	375	381	412	414	416	439	
外国株式	MSCI-KOKUSAI	1,567	1,664	1,783	2,076	2,076	2,142	2,272	
ベンチマークの収益率		+9.65%	+0.73%	+3.33%	+6.97%	+6.72%	+1.56%	+3.59%	

平成26年度 4月から9月までのベンチマークの動き

(出典:Bloomberg等)

- 国内債券** 9月末は、3月末(164)と比べ3ポイント上昇した。(10年国債利回り 0.64% ⇒ 0.53%)
 10年国債利回りは、9月に円安株高などにより上昇する局面はあったものの、8月までは欧米の金利低下とイラク・ウクライナ情勢の緊迫化などを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどにより低下基調であったことから、3月末比で低下した。
- 国内株式** 9月末は、3月末(1,629)に比べ183ポイント上昇した。(TOPIX 1,202.89 ⇒ 1,326.29)
 国内株式市場は、5月に発表された米中の経済指標が好調であったこと、6月にECB(欧州中央銀行)が追加金融緩和策を決定したことにより上昇した。9月に入ると安倍改造内閣発足による経済政策への期待やウクライナ情勢の緊張緩和、円安の大幅な進行によりさらに上昇し、9月25日にはTOPIX、日経平均株価ともに年初来高値を付けるなど、3月末比で大きく上昇した。
- 外国債券** 9月末は、3月末(414)に比べ25ポイント上昇した。(米10年国債利回り 2.72% ⇒ 2.49%)(独10年国債利回り 1.57% ⇒ 0.95%)
 米の10年国債利回りは、好調な経済指標で上昇する局面はあったものの、FRB(米連邦準備制度理事会)が低金利政策維持を示したことにより、3月末比で低下した。独の10年国債利回りはECBの追加金融緩和策の決定やイラク・ウクライナ情勢の緊迫化などにより、3月末比で低下した。
 (参考)為替(ドル/円 102.99 ⇒ 109.70)(ユーロ/円 141.94 ⇒ 138.57)
 ドル/円は102円を境に一進一退の展開が続いたが、9月にウクライナ情勢の緊張緩和や日銀総裁の円安容認発言を背景に、約6年ぶりの水準まで円安・ドル高となった。ユーロ/円は、ユーロ圏のデフレ懸念やECBの追加金融緩和策の決定、イラク・ウクライナ情勢の緊迫化により円高・ユーロ安となった。
- 外国株式** 9月末は、3月末(2,076)に比べ196ポイント上昇した。(S&P500 1,872.34 ⇒ 1,972.29)(独DAX 9,555.91 ⇒ 9,474.30)
 米は、5月に発表された好調な経済指標により上昇基調となり、史上最高値を更新するなど3月末比で大きく上昇した。独は、6月に追加金融緩和の発表が好材料となり、史上最高値を更新したが、その後、欧州の景気減速懸念に加え、スコットランド独立運動による先行き不透明感から下落し、3月末比で下落した。

平成26年度 長期給付積立金の運用状況(平成26年9月末現在)

1 資産構成割合の推移

	平成26年3月末	
	時価総額	構成割合
国内債券	60,839	60.8%
国内株式	13,498	13.5%
外国債券	5,516	5.5%
外国株式	11,461	11.5%
貸付金	2,957	3.0%
短期資産運用等	5,803	5.8%
合計	100,074	100.0%



平成26年6月末	
時価総額	構成割合
61,039	62.7%
13,189	13.5%
5,545	5.7%
11,047	11.3%
2,653	2.7%
3,926	4.0%
97,399	100.0%



(単位:億円)

平成26年9月末	
時価総額	構成割合
60,929	60.7%
13,974	13.9%
5,819	5.8%
11,269	11.2%
2,546	2.5%
5,781	5.8%
100,318	100.0%

(参考)

基本ポートフォリオ	
中心値	許容乖離幅
63%	±6%
12%	±5%
5%	±3%
9%	±5%
6%	±3%
5%	±2%
100%	—

注 それぞれの項目は、単位未満について四捨五入しているため、必ずしも合計と一致しない。

2 運用状況

〈修正総合利回り〉

	平成26年度第1四半期 (4~6月)	平成26年度第2四半期 (7~9月)	平成26年度通期 (4~9月)
国内債券	+0.74%	+0.48%	+1.22%
国内株式	+5.03%	+5.95%	+11.14%
外国債券	+0.49%	+5.34%	+5.80%
外国株式	+3.01%	+5.77%	+8.74%
貸付金	+0.60%	+0.60%	+1.20%
短期資産運用等	△0.03%	+0.15%	+0.13%
合計	+1.50%	+2.06%	+3.57%

(参考)

平成25年度
+0.72%
+17.70%
+14.48%
+31.62%
+2.39%
+0.20%
+6.64%

$$\text{修正総合利回り} = \frac{\text{実現損益} + \text{未収収益増減} + \text{評価損益増減}}{\text{簿価平残} + \text{前期末未収収益} + \text{前期末評価損益}} \times 100(\%)$$